

# MiraQ LETTER

一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会

VOL.  
**13**  
2026.04

## Introduction

### 定例研究会第13回が開催！

2026年4月9日(木) MiraQ定例研究会の第13回が開催されました。今回は、現地18名、オンライン3名の方にご参加いただきました！新年度一発目のMiraQ。今回から定例研究会の進め方がアップデートされ、事前ワーク実施後、当日のディスカッションが60分という構成になり、より深い対話と気づきが生まれる場となりました。



## Discussion①

もし明日私たちの会社がなくなったら  
誰がどのように困りますか？

1つ目のワークでは、最初は「顧客」「自分」といった回答が多く挙がりました。しかし議論を広げていく中で、「ビルのオーナーも困るのではないか」といった意見も出てきました。ここから見てきたのは、企業は自分たちが思っている以上に多くの人とつながりながら成り立っている、という視点です。

## Discussion②

あなたの今の作業を「作業名」ではなく、

「お客様に届けている価値」として言い換えると何になりますか？

1つめのディスカッションの中で、「同業他社との“色の違い”を出せているか」という問いかけがありました。それぞれ2つめのテーマに繋がりますが、単純作業でも言い換えるだけで価値のあるものを感じられます。

- ・安心感を届けている・信頼関係を築いている
  - ・困ったときに何でも相談できる存在になっている
  - ・人と人との出会いをつなぐ役割を担っている …
- 一見すると単純作業のように感じる業務であっても、それは確実に誰かのためになっていることを改めて実感できるディスカッションとなりました。

### 【参加者の意見】

「直接対面するお客様だけでなく、そのお客様やステークホルダーと繋がって成り立っていて、そこまで視野を広げないと自社の存在価値は見いだせない」Sさん

「色々な価値がある中で、安心、安全、安定は大事だなと思いました。私の会社でどんな価値を提供出来ているか？を自分の中で問うだけでは広がりには小さいのかなと思います。」Bさん

「自分達の価値を考えることって機会がないと行うことがありません。意識的にどう思うか、と考え続けることがとても大切なんだなと思いました。」Nさん

## Discussion③

社会の変化に合わせて今の仕事のやり方を

どう変えればもっと会社は成長しやすくなりますか？

ワーク③では未来の話を行いました。多くのチームで挙げたキーワードは「AI」でした。ただし、「AIを使えば成長できる」という単純な話ではない、という点も共通認識としてありました。

### 【参加者の意見】

「企業としての存在価値が生まれることが、30年後無くなる確率の80%に入らなくて済むのではないか。」Sさん

「管理部門(特に経理やシステム)を管掌していると、作業となっていることが多い。作業→価値への変換を進めていかないといけないと感じた。」Hさん

「価値の捉え方は考え方、職種、などいろいろな要素があると思います。芯は残した状態であれば後からたくさん価値を付け足すことも可能だなと思いました。」Nさん

「会社として成長するために何が必要かを考えたとき、新規事業や業務改善、ツールの導入などを真っ先に考える癖がありました。しかし、まずお客様に届ける価値は何なのかを考えると自然と答えが見つかるように感じました。」Yさん

今回の研究会を通して感じたのは、「企業は“機能”ではなく“価値”で選ばれる時代である」ということです。

そのためには、自社の価値を言語化すること、それをしっかりと伝えること、そして変化に対応し続けることが必要不可欠です。小さな一歩でも、「変えていこう」とする意識が、企業の未来をつくっていくのだと感じました。

## 次回案内

【テーマ】「経営者の責任」

【日時】2026年5月14日(木) 16:00~18:00

【会場】エル・おおさか 南101 もしくは オンライン

MiraQの定例研究会も2年目に突入しました。4月から事前学習動画に加えて、ワークシートによる事前課題にも取り組んでいただいております。これはより実践を意識した取り組みとなります。どうなるか心配していましたが、4月の参加者の皆さんも楽しんで取り組んでいたようですので、今後も充実させていきます！

